

令和7年度 町政懇談会（大川・黒川・中央ブロック）

日 時:令和7年11月27日(木)

午後6時00分～

場 所:中央公民館 大講堂

次第

- | | |
|---------------------|---|
| 1 開 会 | 6 1 名出席 大森事務局長司会進行 |
| 2 連合会長挨拶 | 澤谷連合会長挨拶 |
| 3 町長挨拶 | 齊藤町長挨拶 |
| 4 出席者紹介 | 区会連合会：澤谷連合会長、伊藤大川ブロック長、
中川黒川ブロック長、菅原中央ブロック長
町：齊藤町長、渡辺副町長、前坂教育長、高橋総務部長、阿部民生部長、
橋端総合政策部長、紺谷建設水道部長、浅野教育部長 |
| 5 「未来につなぐ町の礎」～齊藤町長～ | |
| 6 懇 談 | 伊藤大川ブロック長進行 |
| 7 その他 | |
| 8 閉 会 | 午後 6 時 5 0 分閉会 |

令和7年度 町政懇談会（大川・黒川・中央ブロック） 顛末

R7.11.27 18:00～ 中央公民館大講堂

1. 町長の説明の要約

町が置かれている危機的な状況（財政面および人口面）について、出席者と危機意識を共有し、今後の町の将来を共に考えていく機会にしたい。

(1) 財政の現状と対策

- ① 予算規模と町民税の割合：令和6年度の予算は約130億円で、前年度比で18億円増加している。しかし、歳入に占める町民税の割合は、直近のデータで13.9%から15.9%程度（全国平均35%）で推移しており、半分以下です。ただし、後志管内では、泊村（50%超）に次いで4位と上位に位置している。
- ② 財政的な課題：収入が伸び悩む中、支出は増加傾向にある。インフラ維持費は3年前との比較で約1億円増加。社会保障費も「雪だるま」のように増大しており、こちらも3年前との比較で約1億円増加している。
- ③ 財政運営の方針：厳しい状況下で、将来に「何を絶対に残していくべきか」という選択が今、まさに必要とされている。
- ④ 依存財源の活用と政策実行：財源の多くは国からの地方交付税交付金や補助金などの依存財源。町は、各部署の縦割り予算を統合し、一つの企画としてまとめて国費を50%入れる手法などを活用することで、町の支出を抑えつつ政策を執行できるようにした。
- ⑤ 財政健全化：過去には100%を超えたこともあった経常収支比率を、最新のデータでは約88%まで下げ、町の裁量で使える予算の割合を増やしている。
- ⑥ ふるさと納税の活用：ふるさと納税の寄付額は急増しており、町長が就任した当初の5,000万円程度から、現在では15億円を超え、今年度は20億円程度に達する見込み。この収入は、主に子育て政策（給食費の無償化など）に振り分けられている。これは、若者政策がひいては高齢者政策にもつながるという考えに基づいている。
- ⑦ 所得の向上：過去5年間で人口が10%減っている一方、所得は数値上10%伸びており、政策の効果が現れ始めていると見ている。

(2) 人口の現状

- ① 出生・死亡：毎年生まれる赤ちゃんは約70人（学校で2クラス作れるかどうか）。一方、亡くなる方は約360人（中学校が1つなくなる数字）であり、人口はすごい勢いで減っている。
- ② 高齢化率：高齢化率は40.8%で、5人に2人が高齢者という状況。今後は「1人で1人を支える」状況が間もなく到来する。

(3) 町長の役割と主要課題

- ① 町長の役割：町長の主な仕事は、町の将来像を考えた戦略を立てること、収入を増やすこと、そして政策実現のためのネットワーク（外交）を広げることの3点。役場にいないことが多いとの批判についても、電子決済の導入などに

より、決済が滞ることはない。

- ② 街路灯のあり方:歴史的経緯から、街路灯は区会が設置し、町が補助(50%)していた。現在は、区会が所有し町が補助(1回限り)する制度だが、時代の流れに合わせ、1回を超えても補助できる制度に変えることを検討している。
- ③ 区会の課題:役員のなり手不足は全国的な問題であり、負担軽減策として、回覧板など紙ベースのやりとりをデジタル化し軽減を図っている。
- ④ 火葬場:土地崩れで停止していましたが、場所が選定され、設計・建設に向けて順調に動き出している。
- ⑤ 道の駅:当初想定していた事業者との協議で十分な成果が得られないと判断し、将来の負担となる施設建設を避けるため、一旦計画を白紙撤回し、再調整を行っている段階。

2 教育長の学校再編整備の説明の要約

(1) 学校再編整備の必要性と基本計画の策定

少子化の進行と学校施設の老朽化が同時に進んでいる現状を鑑み、子供たちにより良い学びを提供するため、学校再編整備が必要。

この課題に対応するため、将来を見据え、小中学校の適正規模および適正配置について検討を進めた。そして、令和4年度に「町立学校適正規模適正配置基本計画」を策定した。

再編整備の方向性は、「現在の学校を改修して再編する方法」と「新たに学校を新築する方法」の二点が計画の中で示された。

(2) 保護者の意見と計画への反映

計画策定に先立ち、保護者を対象としたアンケート調査が実施され、その結果、少子化が進む中で、学校の基本方針である「各学年1クラスの維持」が難しくなり、複式学級も予想される状況を踏まえ、保護者からは異世代間交流ができる学校で子供たちを学ばせたいという意見が多く寄せられた。

(3) 策定後の経過と現在の検討状況

基本計画策定後の翌年、令和5年度には、全町を対象とした住民説明会が開催されました。これは町内にある中学校3箇所それぞれ2回ずつ(計6回開催、うち1回は中止)行われた。

そして、令和6年度および今年度においては、基本計画に示された内容を具体化するために、検討委員会を組織し、現在検討を進めている段階。

(4) 学校再編整備に関する今後の展望

学校再編整備に関して、「再編整備が大規模な財政支出を伴う計画である」こと、「学校施設を全町的な公共施設のあり方計画との整合性を図りながら進める必要がある」ことが主な理由として、検討に時間を要しているが、少子化と学校施設の老朽化が非常に進んでいることから、スピード感を持って取り組み、できるだけ早い段階で再編整備の方針をお示ししたい。

3 質問とその回答

町長の説明後、以下の質疑応答が行われた。

質問の概要	回答（町長／担当者）
ふるさと納税の寄付額が20億円となる見込みだが、返礼品費用を差し引いた実際に町が使える金額はいくらか。	寄付額の50%（20億円の場合は10億円）が自治体に残るよう、全国統一で決められている。
給食費無料化や医療費無料化が進んでいるが、町は高校生までの医療費無料化をどこまで拡大する計画か。	町は既に18歳まで医療費無料化を実施している（高校生までやっている）。また、生まれる前から、超精密超音波検査や無痛分娩の補助など、切れ目のない支援を確立している。
熊の目撃情報について、昨年との比較でどうなっているか。また、箱罾の数が不足しているという話を聞くが、状況と今後の対応は。	目撃情報は積み上げていないが、捕獲数は昨年度と比較して大幅に増えており、今年は全町で13頭捕獲している。箱罾の数は、罾の数と設置する人員の関係で、全てに設置できない状況は発生しうる。今後は、国や北海道からの予算拡充の情報を得つつ、高齢化が進む猟友会と協議しながら、箱罾設置数の増加や、猟友会メンバーを増やすための働きかけを進めたい。
登墓地の管理について。隣接するニトリ観光との境界にある大木（クルミやカラ松）の落ち葉や枝が墓地に散乱し、管理が大変困難である。町からニトリ観光へ整備の交渉は可能か。	その土地が町の管理地であれば町が責任をもって管理する。もしニトリ観光の土地であれば、町がニトリ観光と話をし、どのような形にしていくか協議する形になる。現場を確認する。

令和 7 年度町政懇談会 ブロック要望

大川・黒川・中央ブロック

令和 7 年 1 1 月 2 7 日（木） 中央公民館

要望番号 1	ブロック名	黒川ブロック（八幡区会）
【要望事項】	まほろばの郷の今後について	
<p>宅地管理公社が解散という話を耳にしているが、今後の方向性について知りたい。</p> <p>例：管理公社はどうなるのか？ 残っている土地はどうするのか？</p> <p>草刈りなどの管理は？</p>		

【回 答】	担当課	まちづくり計画課
<p>株式会社まほろば宅地管理公社は公社取締役会において、令和 7 年度末での解散に向けて検討中であり、株主総会の決議で正式決定することとなります。</p> <p>公社が所有する土地については残り 5 区画となっており、この土地の扱いについては現在町と公社で協議しているところです。</p> <p>その他の各地権者が所有する宅地については全体の 7 割程が売却済みとなっておりますが、余市町で実施している住宅取得等支援補助制度等により今後も土地の売却に向けた支援を続けてまいります。</p> <p>草刈り等の管理は各地権者が行うこととなりますが、複数の地権者が所有する土地をまとめて業者に依頼することにより、通常より安価に実施することが可能となることから、今後の手法について公社と業者との間で検討しているところです。</p>		

要望番号 2	ブロック名	黒川ブロック（八幡区会）
【要望事項】	新町宮斎場の建設について	
情報が全く入らない。進捗状況や完成の目処は？ 集合墓（合葬墓）をつくる計画はないのか？		

【回 答】	担当課	環境対策課
<p>令和6年度に新たな候補地で事業を進めるにあたり、測量調査や地質調査を実施し建設に向けての配置計画や概算工事費の算定を目的とした「町営斎場建替事業基本計画」を策定しました。</p> <p>今年度においては、この基本計画をベースに敷地造成ならびに建築の設計業務に取り組んでおり、令和8年度に敷地造成の規模や建物配置図や面積等の設計図書がまとまる予定であります。</p> <p>工事には2か年を予定しており、令和11年度の供用開始に向け取り進めております。</p> <p>集合墓（合同墓）の整備にあたり、設置場所や管理方法、整備費や管理費などの検討、また、町内宗教界との調整も要することから、町営の集合墓（合同墓）の必要性について調査研究していきたいと考えております。</p>		

要望番号 3	ブロック名	黒川ブロック（八幡区会）
【要望事項】	新しい道の駅について	
新しい道の駅の整備に向けての進捗状況は？ 前回残土を搬入したところに砂利を入れているようだがその理由は？		

【回 答】	担当課	商工観光課
<p>現在、余市町では新しい道の駅整備に向けて、民間事業者などとの対話を進めています。この対話を通じて、整備や運営の方法、事業条件などに関する提案を受け、事業の市場性や実現可能性を確認しているところです。その結果を踏まえ、必要に応じて基本構想の見直しを行いながら、公募に向けた準備を進めていきます。町としては、地域の魅力を最大限に活かし、持続可能で利用しやすい施設を目指して取り組んでいます。</p> <p>新道の駅予定地の用水路を挟んで西側の用地ですが、北海道からの申請により、一時的に電線共同溝工事に伴う土砂及び資材、重機の仮置きを行っています。</p>		

要望番号 4	ブロック名	中央ブロック
【要望事項】	福祉センター入舟分館の改築を要望します。	
<p>本件については、令和元年度にブロック要望として以来、本年度で7年次目となります。一昨年の本懇談会においては立地適正化計画と整合性を図りながら検討したいとのことでした。</p> <p>ついては、どのような状況になっているのかご説明をお願いします。</p>		

【回 答】	担当課	福祉課
<p>福祉センター入舟分館は築58年経過しており、町の施設の中では、古い施設となっており老朽化も進んでおります。</p> <p>ご要望の、改築については他の老朽化施設との更新需要の集中や、財源を鑑みますと現時点での改築は極めて困難であります。</p> <p>つきましては、当面は安全確保を図りながら、施設の維持管理に努めます。</p> <p>しかしながら、当該施設は築年数からも、いつ重大な不具合により使用不能となってもおかしくない状況であり、そのため、施設の維持管理に努めつつも、万が一使用できなくなった場合に備え、代替え施設の確保や利用方法について、利用者との協議を進めていきます。</p>		